

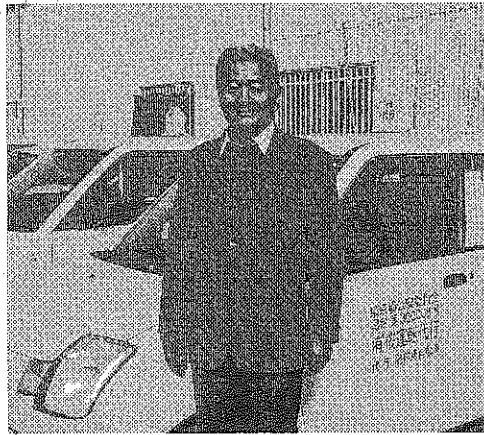
# 運代行フロント front

35

桜運転代行社(東京・瑞穂町、山口治道社長)は「親切、丁寧、愛想良く」をモットーに掲げ、従業員教育に力を入れる。顧客の評価を高め、口コミ利用を広げていく方針だ。随伴車6台、従業員20人。1990年12月に開業した。

山口社長は運代行業へ参入した際、タクシ

## 桜運転代行社(東京・瑞穂町)



「参入のハードルを上げてほしい」と訴える山口社長

## タクシー乗務の経験生かし

・ハイヤーの接客ノウハウを学ぼうと、日本交通(立川(立川市)で約5年間ハンドルの握った。トリ入れた。

「ハイヤーの接客ノウハウを学ぼうと、日本交通(立川(立川市)で約5年間ハンドルの握った。トリ入れた。」

「他社では随伴車に乗せているのに、なぜできないのか」と、客からクレームを受けることが多いようだ。「真面目な事業者が歯がゆい思いをしている」と嘆く。

「車を傷つけた」などと言いがかりをつけられることもある。顧客車まで一緒に行き、車体を手エックした後に乗務すればトラブル防止につながる。と見て、AB間輸送のあり方について提起する。「業界の意見を踏まえた法改正を」とも。

AB間輸送(タクシ

類似行為)の禁止を従業員に徹底しているが、

※本コーナーは新年度から不定期掲載となります。